

留学先大学：清華大学
 留学先での所属学部・研究科：国際関係
 留学先での在籍身分：交換留学生
 留学期間：2014年2月～2014年7月
 神戸大学での所属学部・研究科：法学研究科
 学年（出発時）：1回生
 本報告書記入日：2014年5月 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

VISAに関しては中国大使館のホームページを参考にした。また清華大学日本人留学生会のHPがあるためそのサイトである程度情報を収集することができる。http://tsinghua-japan.at.webry.info/

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）
- 住居（寮，アパート）の名前：紫荊公寓
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：韓国人） その他（具体的に）
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）
- ・大学までの通学時間・手段：10～15分，自転車
- ・住居の周りの環境はどうか。：

大学内が非常に広く、おそらく神戸大学六甲台キャンパスの3、4倍はあるのではない。宿舎から授業のある教室まで歩くと2、30分は必要なので、自転車は必要不可欠である。繰り返すが、宿舎と教室棟は同じ大学内にある。ちなみに電動自転車を使うと快適に移動できる。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

食堂が大学構内で20箇所近くあるので食べる場所には困らない。価格も非常に安く一食150円程度に収めることができる。大学外では吉野家、マクドナルド、ケンタッキー、スターバックス、北京ダックの老舗全聚徳も店を構える。ただしこれらの店舗は日本とは大きく価格は変わらない。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

とくになし。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

全て中国語でネット登録を行う。漢字ができない留学生は四苦八苦ししていた。インターネット登録システムは日本と比べて遜色ないほど非常に発達している。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	中国語精読 レベル3		4	4	20	文章の内容は難しい。HSK6級以上の文 章。ただし授業そのものは難しくない
2	中国語リスニン グレベル2	刘丰	4	4	20	HSK4級～5級クラス
3	中国語口語 レベル2		4	4	20	会話のクラスは総じて難しくない。緊張 を解きほぐす方が難しい。
4	日本研究	刘江永	3	3	60	授業の内容は簡単だが、ほぼ聞き取れない
5	arms control and international security	李彬	2	2	20	英語の授業。日本で類似した授業を受けていた場合は それほど難しくない。初学者にはおすすりできない
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

現地学生の態度も日本とそれほど変わらない。ちゃんと真面目に受けている学生もいれば、スマホをいじっている学生もいる。ただし学生の負担は日本よりも大きい。レポートの分量も日本より非常に多いと思う。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	自由
9:00		授業	授業				
10:00	予習	(1コマ 目)	(1500ま で)	授業 (1200ま で)			大学院生 の交流会 や、飲み 会、勉強 会など。
11:00						野球サー クルの活 動など	
12:00	昼食						
13:00	授業 (1 コマ目)	授業 (16:00 まで)			授業 (1700ま で)		
14:00	授業 (2 コマ目)						
15:00							
16:00							
17:00	夕食						
18:00							
19:00							
20:00					日中交流 サロン		
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

中国では毎日刺激的な日々を送ることができています。神戸大学も広いですがさらに広い清華大学は大学が一つの街のようになっています。食堂や体育館（日本の「体育館」のような簡易な物ではありません。競技場といった方が正しいです）、スーパーだけでなく、映画館や風情のある公園まで整備されています。どこから感想を述べるべきかわかりませんが、とにかく中国の巨大さに圧倒されているところです。北京は高層ビルが立ち並び、場所によっては物や食事の値段は日本のそれらと変わりません。それどころか日本よりも高価な場合もあります。いまやGDP世界第二位の面目躍如といったところでしょう。一方で水は500ml 17円で買うことができ、バスは5円で乗ることができます。生活必需品は総じて物価が抑えられている印象があります。

留学からはや3か月を経て、すっかり中国での生活にも慣れましたが、大学の授業はまだまだ四苦八苦しています。私は中国語の授業を3つ、大学院の英語の授業を1つ、学部生と一緒に受ける通常授業を1つ現在取っています。中国語の授業は留学生向けということもあり、積極的に発言したり、授業内容も特に問題なくついていくことができています。英語の授業も内容そのものはかつて日本で受講したことがある内容なので、英語を聞き取るのは難しいですが、これも特に大きな問題なく受講できています。しかし学部生向けの通常授業は、中国語のスピードも当然非常に速くほとんど聞き取ることができていません。当初はまったく理解できず非常に苦労しました。せめてもの救いは「日本研究」という日本に関する授業であることと、授業で使われるパワーポイントの内容を目で追うことができていたからだと思います。

北京の空気ですが、非常に悪い時と全く問題ない時と大きく二分できます。天気予報でもスモッグが発生するときは事前に予告される場合が多いです。とくに冬は一般家庭で石炭を使って暖を取ることもあり、大気が非常に汚染されていました。2月下旬にはマスクが黒ずむほどの日もありました。中国人に「このひどい大気が日本に飛んでいくんだらう。なんか申し訳ない」と言われたことは忘れられません。しかし、春になってからは大気の状態は、日本基準と比べると必ずしも安全とは言えませんが、安定しています。北京はスモッグに覆われている日よりも青空が見える日の方が多いです。常に霧に覆われているわけではありません。ただし、その中間の日が一番多いと思います。空気以外にも昼夜の寒暖差が非常に大きく、20度近く上下することも多いので服装には注意が必要です。とはいえ春になれば穏やかな気候になり、ヒマワリの種のような柳の綿が北京中で飛んでいます。非常に趣のある光景です。

最後に日本人だからと言ってなんらかの差別を受けたことは現段階で一度もありません。ただし中国人の方に気を使ってもらったことはあります。清華大学の学生はみな英語に堪能で驚かされる毎日ですが、なかには日本語にも堪能な学生もいます。もちろん日本語学科の学生もいますが、そうではなくて、単純に日本への興味から勉強している学生も多くいます。日本語をほとんど勉強していない一般人でも、日本への興味や関心を持っていることが多いです。中国の辺境の都市に行っても日本語での数字の数え方くらいはみな知っています。また日本人があまりいないようなところでも、日本料理店はたくさん営業しています。実は中国人は日本に対して非常に大きな関心を依然として持っています。中国は日本ととても似ているようで、やはりどこか違う国家です。そしてとても違っているようで、やはりどこか似ている国家です。この巨大で実は多元社会である中国への興味は尽きることがありません。